

安全便り

令和3年8月26日

階上小学校

防災・安全部

夏休みは安全に過ごせましたか！

コロナ禍の中、家で過ごすことが多かった夏休みだったと思いますが、庭先で花火をしている家族の姿を見かけほほえましく感じた今日この頃です。夏休み後半は、九州や西日本の豪雨による災害を目のあたりにし、改めて自然災害の怖ろしさと日頃からの準備の大切さを実感しました。

さて、今日から2学期が始まりました。登校の様子を見てみると、久しぶりの登校で友達に会えることで足下も弾んでいるようでした。それでも、横断歩道では、しっかり左右確認を心掛けて安全に登校する姿を見かけました。7月20日の1学期の終業式の日には、地区別下校訓練を行いました。歩行指導や登下校中に地震が発生した場合の避難の仕方を訓練しました。今回は、学校付近での訓練であり、塀や車を避けて安全を確保することを学習しました。日頃低学年の児童と一緒に登下校することが少ない高学年にとって、自分の身を守るだけでなく低学年への適切な声掛けも学ぶことができました。2学期の終業式にも、地震発生場所を変えて同様に行いますので、どこで地震が発生しても周囲の状況を的確に判断して避難することお身に付けてほしいと思います。



「交通安全7つの誓い」を全校で唱和した後、地区ごとに下校しました。



七半沢地区の子供たちは、車に気を付けながら道路端で「だんごむし」のポーズをしていました。



長磯原地区の子供たちは、道路の端に列でしゃがみました。さすがです。しっかり自分の身を守っていますね。



長磯浜地区の子供たちは、広い場所でしゃがむと良かったね。車が来たら大変です。

